

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	生野
学 校 名	巽東小学校
学校長名	塩田 武史

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・巽東小学校では、第6学年 71名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科、算数科ともに全国平均・大阪市平均点を下回る結果となった。全体の概要からわかるように、国語科では、全国平均点67.7、大阪市平均点66、本校は58点と約10ポイント弱低かった。算数科では、全国平均点63.4、大阪市平均点62、本校は52点と10ポイント以上平均点が低かった。しかし昨年度、本校の課題として取り上げていた平均無解答率は、国語・算数ともに平均無解答率が全国平均より低い数値となった。

児童質問紙においては、「自分によいところがありますか」や「将来の夢や目標を持っていますか」質問事項では、大阪市・全国の肯定的な回答より5～8ポイントと高い数値であった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕学習指導要領の内容について、「読み・書き・話す」に関しては、前年度より正答率が下がっているため依然として全国・大阪市平均との差は大きい。「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」においても全国・大阪平均との差が大きかった。問題形式の扱いでは、記述式の正答率が低かった。問題文からの読み取りに苦手意識のある児童が多いことが課題として挙げられる。「我が国の言語化に関する事項」は、全国・大阪市平均よりも高かった。

話すこと・聞くことの内容では、授業での音読や物語文の登場人物の心情などを考え、読み取ることで成果が少しずつ表れてきている。

〔算数〕前回に比べれば、全国・大阪市平均との差が少なくなったが、まだまだ全国・大阪市平均よりも低い数値となった。特に「図形」の領域では、平均回答率が全国・大阪市よりも12～15ポイント以上も差があった。データの活用分野では依然として全国との差が10ポイント以上ある。

基礎学力の定着を図るため、前学年の内容を復習したり、計算力を高める取り組みを行ったりした結果、計算力は向上してきている。今後も算数の授業の進め方について研究を深め、授業改善に取り組んでいく。

質問調査より

「自分によいところがありますか」や「将来の夢や目標を持っていますか」の質問事項では、肯定的な回答が大阪市・全国平均より高かった。スポーツや自分の得意分野に取り組む児童が多く、将来の夢に向かって努力する姿が学校でも見られる。将来の夢を自分の言葉にして話す児童も少なくない。自分自身が努力することで肯定感が高くなっていると感じる。また、本校独自で取り組んでいるPBS（ポジティブ行動支援）の効果もあり、自己肯定感が高くなり「自分によいところがある」と答えた児童が多くなったと思われる。

学習面の質問では、家庭学習の時間が全国・大阪市平均より低く、家庭学習の課題や宿題等を見直し、保護者への啓発に努めていく。

今後の取組(アクションプラン)

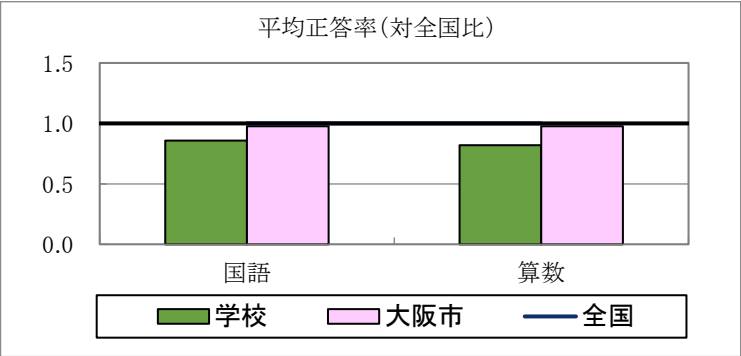
学習面では、今年度は算数を研究教科として授業研究を行ってきた。課題解決のための見通しをもち、自力で課題解決できるように授業改善に取り組んでいる。また、考えたことをペアやグループで交流し、考えを深めるようにしている。今後も引き続き算数科の授業力の向上を図っていく。学力に課題のある児童に対しては、放課後学習教室の活用や学力向上学習サポーターによる学習のつまづきをサポートして成果につなげていきたい。また、苦手意識のある文章問題や記述式の問題などプリント学習を使って繰り返しの学習を取り入れていく。

生活面では、子どもの自尊感情を高める活動を今後も継続していく。そのためにはポジティブ行動支援の活用を深め積極的に取り組んでいく。

【 全体の概要 】

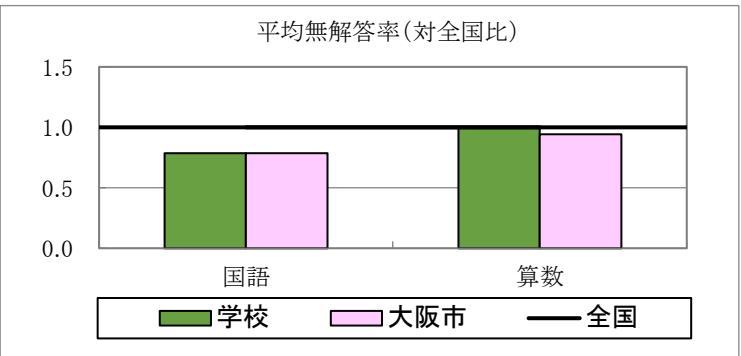
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	58	52
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.3	3.4
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

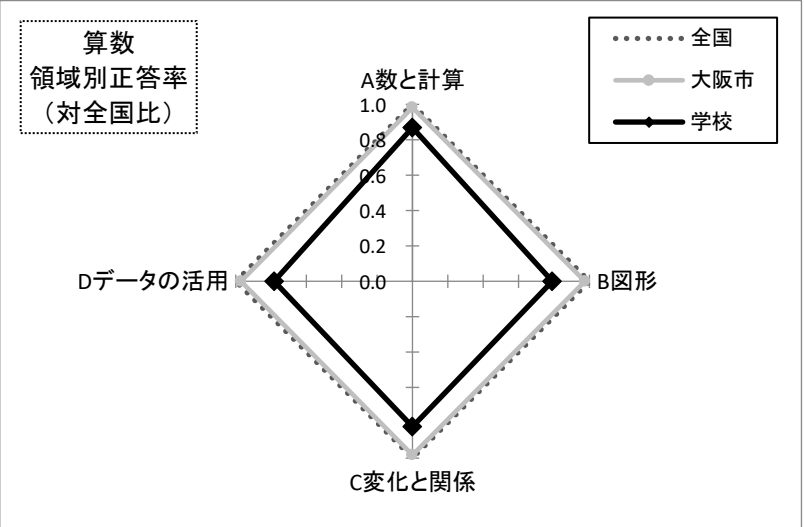
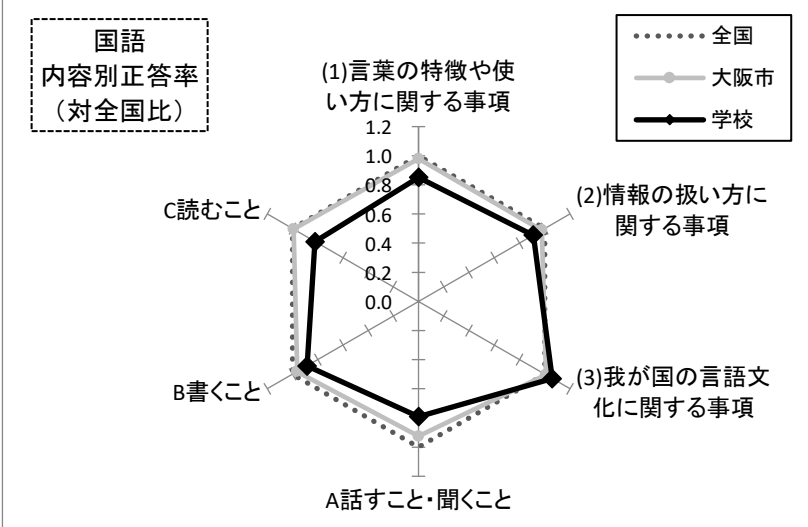
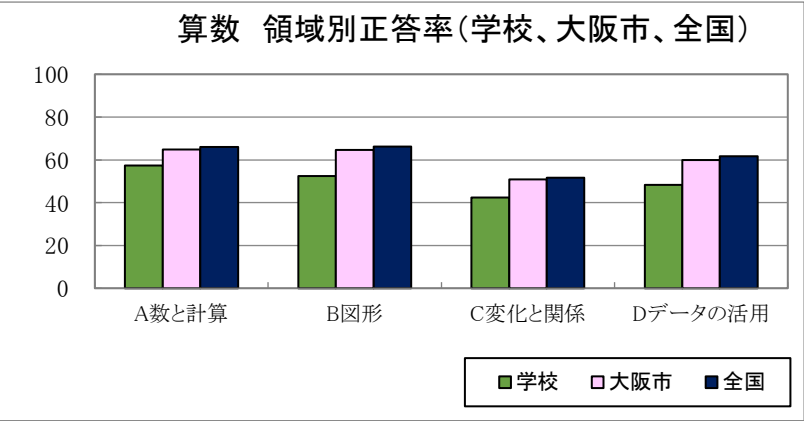
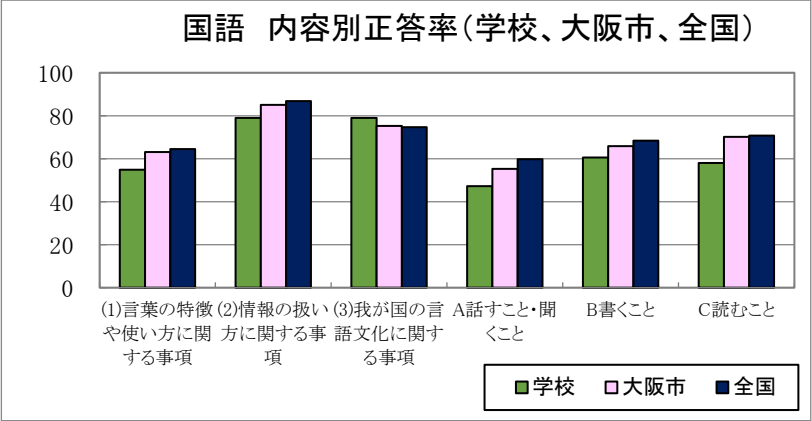


【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	54.8	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	79.0	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	79.0	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	47.3	55.3	59.8
B 書くこと	2	60.5	65.9	68.4
C 読むこと	3	58.1	70.1	70.7

【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	57.3	64.8	66.0
B 図形	4	52.4	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	42.5	50.8	51.7
D データの活用	4	48.4	60.0	61.8

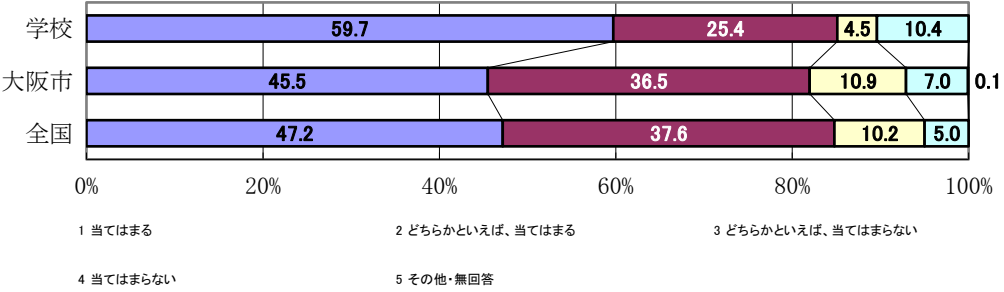


児童質問より

質問番号
質問事項

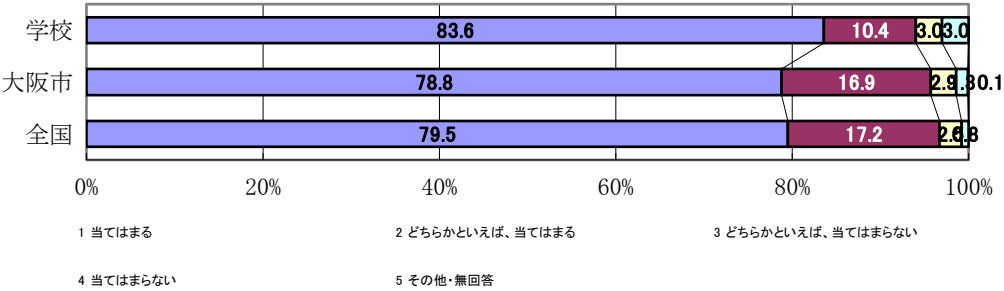
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



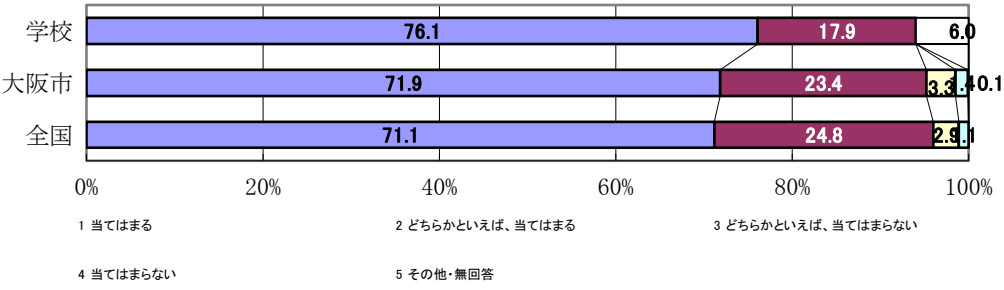
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



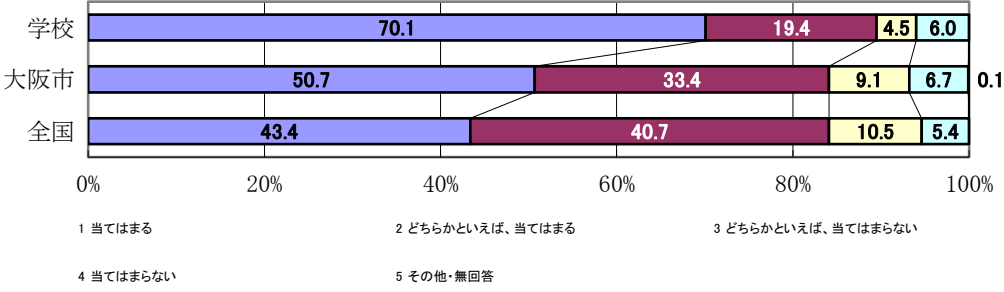
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



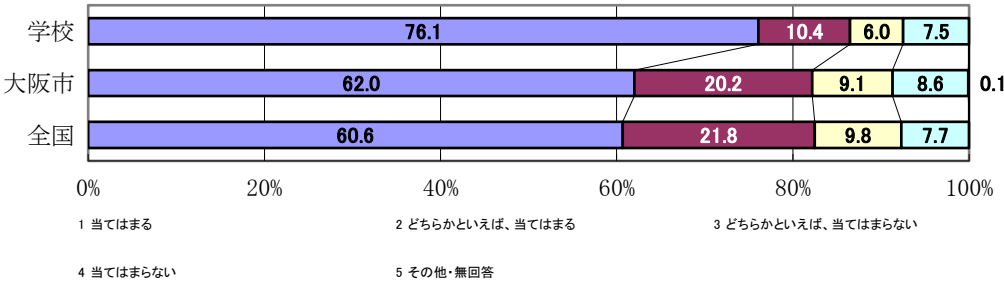
9

自分には、よいところがあると思いますか



11

将来の夢や目標を持っていますか



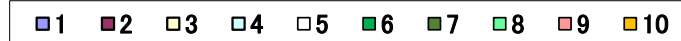
学校質問より

質問番号

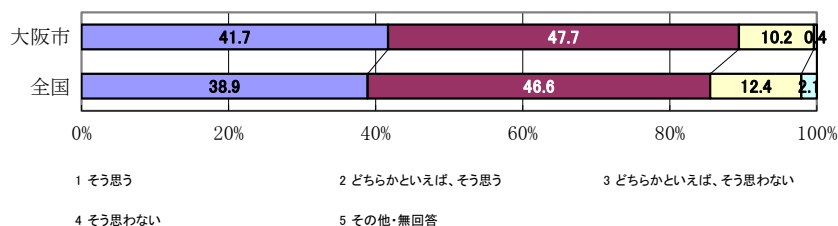
質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



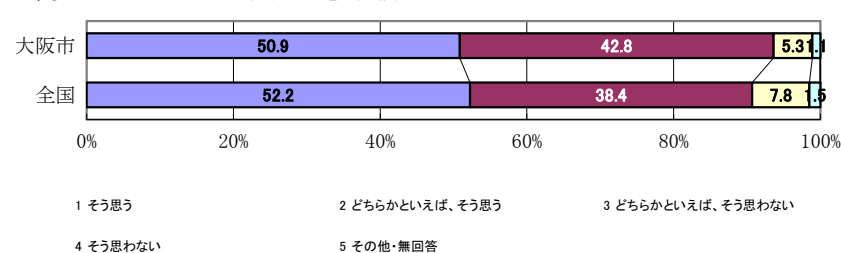
学校「どちらかといえば、そう思う」を選択



8

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

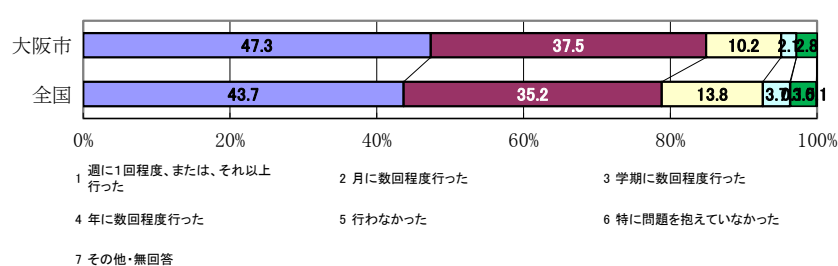
学校「どちらかといえば、そう思う」を選択



9

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

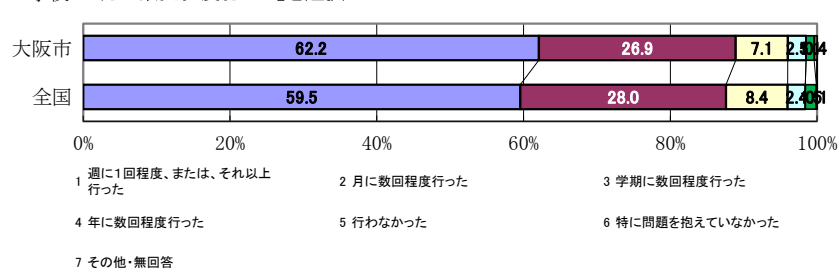
学校「月に数回程度行った」を選択



10

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

学校「月に数回程度行った」を選択



11

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

学校「一部取り入れている」を選択

